

東秩父村 de ものづくり！

【インタビュー②】

Q・地域に根ざした企業として、これまで取り組んできた地域貢献活動にはどのようなものがありますか。（村長）

A・我が社では、浄化槽設備の新設や道路愛護活動の一環として、社員一同による清掃活動や側溝清掃を行うなど環境保護および衛生管理に積極的に取り組んできました。また、「エコアクション21」※1にも取り組み、環境に配慮した経営活動を推進しています。東秩父村の豊かな未来のために、地域に根ざした企業として、今後もできる限りの環境保全活動を継続していきたいと考えています。（小島社長・小島さん）

※1「エコアクション21」とは、環境省が策定した、中小企業や団体向けの環境に配慮した経営・活動を、無理なく・見える形で進めるための仕組みのことです。



これまで小島光学製作所は、地域とともに歩むことを大切にしてきました。もとのづくりの現場は工場の中だけで完結するものではなく、地域の支えがあつてこそ成り立つものだと考えています。

さらに、社会貢献活動を通じて、企業と地域の距離を縮める取り組みも行ってきました。日々のものづくりを支える「人」と「地域」への感謝の気持ちを忘れず、これから先も長く地域社会の一員としての責任を果たし続けていきます。

この地域で培われた人の力と、ここで磨かれてきた技術。その両方が融合することで、小島光学製作所ならではのものが生まれています。地域に根ざし、地域とともに成長する企業として、これからも村で、そして村のためのものづくりを続けていきます。

— この先の未来へ —

【インタビュー③】

Q・今後の展望や新たに考えていることはありますか。（村長）

A・次の時代を牽引する世代がどのように行動するかが、これからの社会において重要であると私たちは考えています。時代の変化とともに、今と今後で求められるものも変わっていくでしょう。私たちはその変化に柔軟に対応できる人材の育成と、技術力の向上を目指し、これからも歩みを止めることなく前進していきます。また、未来を支える子どもたちに、私たちの活動や仕事について知ってもらえる機会を大切に、ものづくりの魅力や社会とのつながりを伝えていきたいと考えています。（小島社長・小島さん）



長年にわたり培ってきた技術と信頼を礎に、小島光学製作所はこれからも精密光学レンズの可能性を追求し続けていきます。時代とともに求められる技術や製品は変化していきますが、「ものづくりは人づくり」という理念は、これからも変わることはありません。今後はさらなる技術力の向上に加え、次世代を担う人材の育成にも一層力を注いでいく。若い世代がものづくりの魅力を実感し、安心して挑戦できる環境を整えることは、企業の持続的な成長だけでなく、地域社会の活力向上にもつながると考えています。これから地域に根ざした企業として責任を果たしながら、技術革新と人材育成の両輪で未来を切り拓き、精密光学分野のさらなる発展と貢献に期待します。

地域との連携をこれまで以上に深め、地元とともに新たな価値を生み出していくことも目標の一つです。地域に根ざした企業として、雇用の創出や技術の継承を通じ、地域社会に貢献し続けていきます。

光学技術を通して社会を支え、地域とともに歩み、未来へとつなぐ。小島光学製作所は、これからも「技」と「心」を大切にしながら、新たなものづくりに挑戦していきます。

